

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-14号)

平成28年9月7日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年9月1、2、5日に伊勢・三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

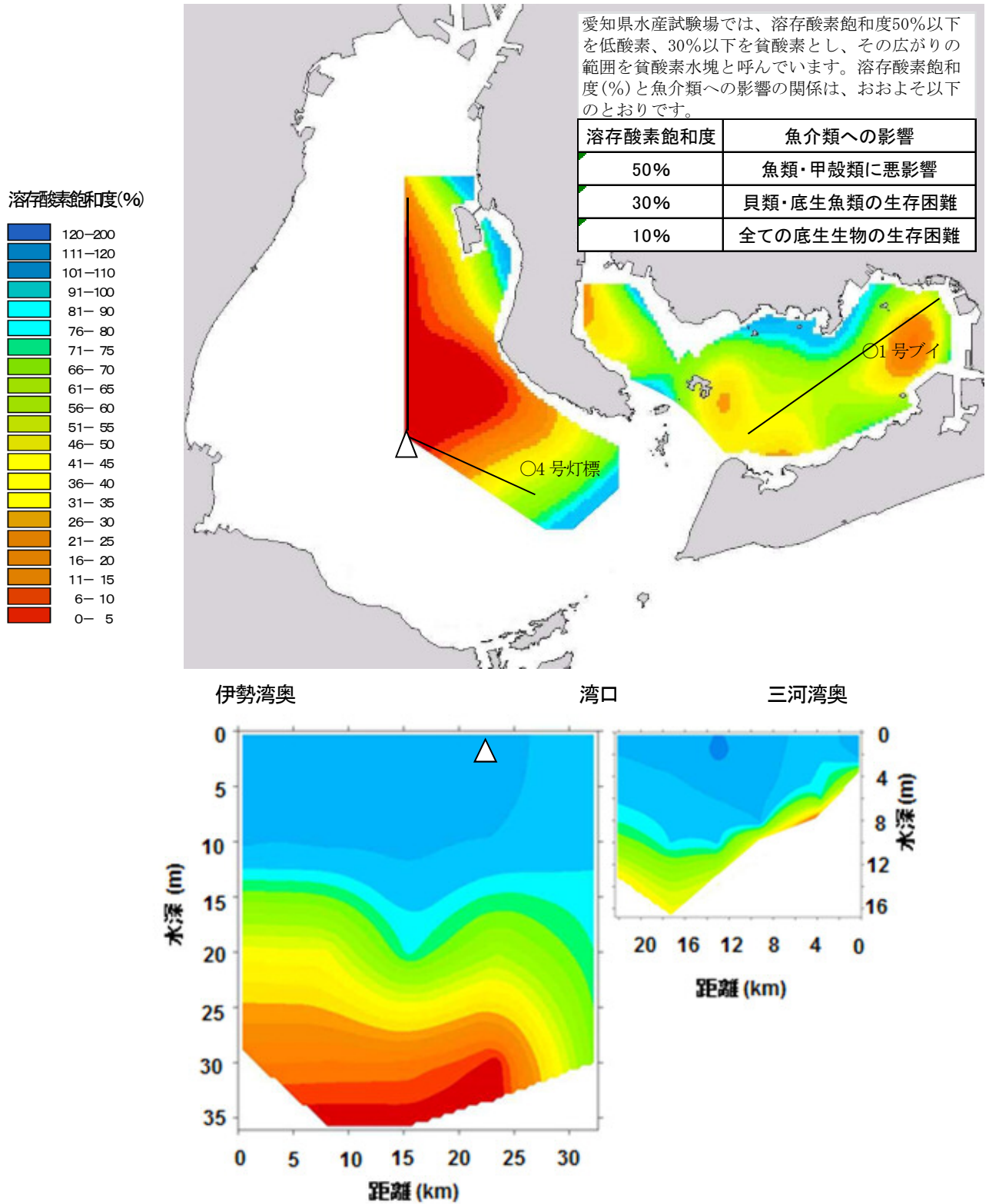


図1 伊勢湾 (9月5日)、三河湾 (9月1、2日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

9月5日の調査結果を図1、表1に示しました。前回調査(8月25、26日)では湾奥～湾口部にかけて貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では、湾中央部を中心に貧酸素水塊が確認されました(図1)。国交省中部地方整備局が所管している伊勢湾の水質モニタリングシステムの第4号灯標(内海沖)の海域では、貧酸素～低酸素の水塊が付近にあり、潮汐により底層の溶存酸素飽和度が大きく変動していると思われる(図2)。

今後は、台風の影響により一部の海域では貧酸素水塊が縮小すると予測されますが、その後は再度、貧酸素化が進行すると思われる。

表1 調査時の水温、塩分

	水温(°C)		塩分	
	表層	底層	表層	底層
表層	25.1	27.7	28.3	33.0
底層	21.2	27.4	29.2	33.3

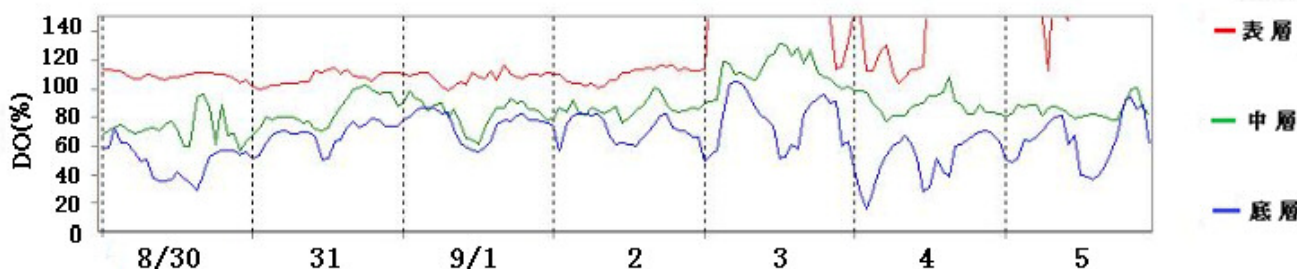


図2 伊勢湾モニタリングシステムの第4号灯標の溶存酸素飽和度の経時変化(中部地方整備局HPより)

三河湾

9月1、2日の調査結果を図1、表2に示しました。前回調査(8月25日)に比べて貧酸素水塊の規模は縮小していました(図1)。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータを見ると、8月下旬は貧酸素水塊が観測されましたが、8月28～31日の強風により海水の混合が進み、貧酸素は解消して表層から底層まで一様な海況となっています(図3)。この強風により、8月30日に蒲郡市～豊川市地先海域の一部の海域で苦潮が発生しました。

今後は、台風の影響による海水の上下混合があり貧酸素水塊の発達は抑制されると思われるのですが、その後は再度、貧酸素化が進行すると思われる。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
	表層	底層	表層	底層
表層	26.4	29.2	29.5	32.3
底層	25.4	27.0	28.2	32.7

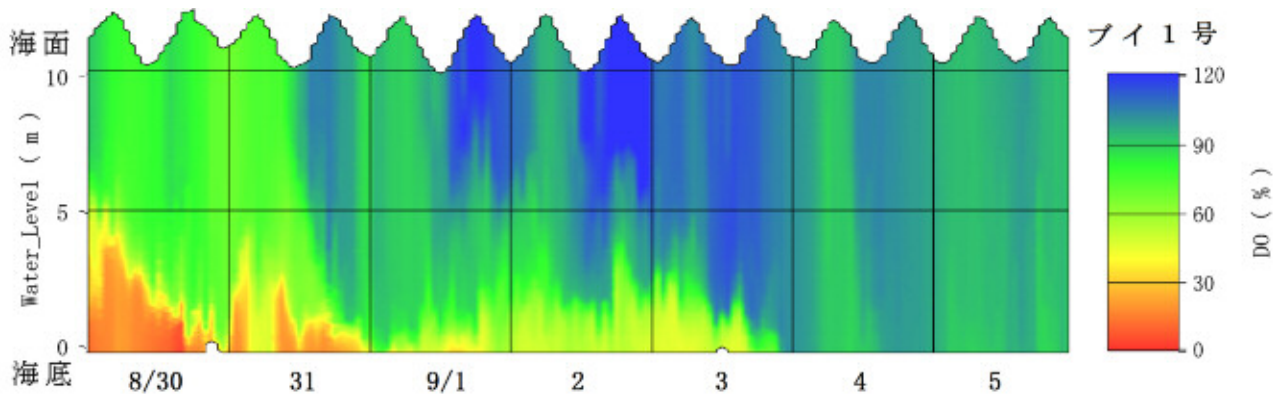


図3 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

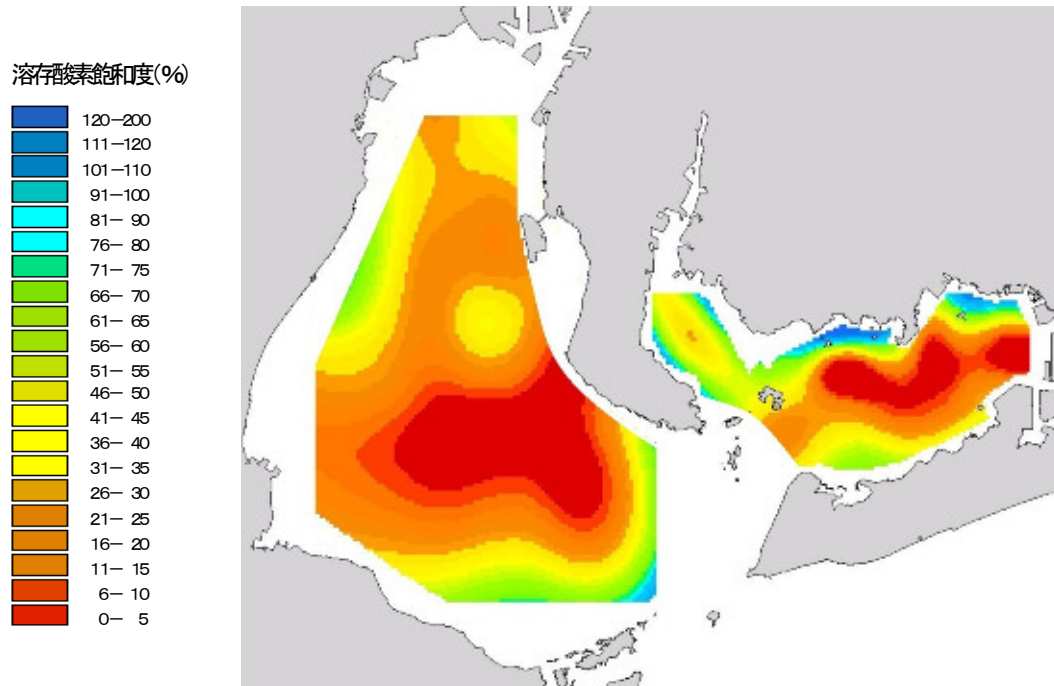


図4 平成28年8月25、26日（伊勢湾）、8月25日（三河湾）